

自信をもってケアをするために、看護の現場に必要な「キホンのキ」を身につけよう！



コード	セッション名・テーマ名	講師・到達目標
AA2601	安全な喀痰吸引のための基礎知識 ～患者にとって苦痛の少ないケアを実践しよう～	富阪 幸子 先生 日本看護協会 看護研修学校
AA2601-a	痰が出るしくみ	●肺の解剖と、痰が出るしくみを理解できる ●排痰援助が必要な状況について説明できる ●排痰援助に伴う患者への影響を理解できる
AA2601-b	吸引の前にできること～体位ドレナージと呼吸介助法～	●排痰の三要素が理解できる ●体位ドレナージの方法を説明できる ●呼吸介助法の方法を説明できる
AA2601-c	吸引すべきか判断するためのアセスメント	●吸引を実施すべきかしないべきか判断するためのアセスメントの方法がわかる
AA2601-d	苦痛の少ないケアをふまえた吸引の手順と注意点	●苦痛の少ないケアをふまえた吸引の手順と注意点を説明できる
AA2602	膀胱留置カテーテル管理 ～感染を起こさないための第一歩～	千種 智之 先生 愛知県がんセンター
AA2602-a	膀胱留置カテーテルとは	感染対策 ●膀胱留置カテーテルとは何かを説明できる
AA2602-b	カテーテル関連尿路感染を防ぐには	感染対策 ●カテーテル関連尿路感染を防ぐ方法を理解できる
AA2602-c	安全なカテーテル挿入の手法	感染対策 ●安全なカテーテル挿入の手法を説明できる
AA2602-d	カテーテル留置中の患者の観察ポイント	感染対策 ●カテーテル留置中の患者の観察ポイントを理解できる
AA2603	患者の尊厳を守るエンド・オブ・ライフケア ～エビデンスをふまえて自信をもってケアできる～	林 糸り子 先生 横浜市立大学
AA2603-a	エンド・オブ・ライフの基礎知識	がん看護倫理 ●エンド・オブ・ライフとは何かを説明できる
AA2603-b	臨死期を迎える身体の変化と求められる看護の視点	がん看護倫理 ●臨死期での身体的変化に対して求められる観察やケアを説明できる
AA2603-c	看取りの場での家族支援とグリーフケア	がん看護倫理 ●グリーフケアを念頭におき、看取りの場での家族支援を実践することができる
AA2603-d	エンゼルケア(死後処置)の目的と基本的な流れ	がん看護倫理 ●エンゼルケア(死後処置)の目的と基本的な流れを理解できる
AA2604	転倒・転落防止から学ぶ医療安全ファーストステップ	金子 由香子 先生 伊奈病院
AA2604-a	医療安全から考える療養環境の整備	医療安全 ●患者の療養環境における医療安全の重要性について説明できる
AA2604-b	患者を尊重した転倒・転落防止の考え方	医療安全 ●患者を尊重した転倒・転落を防止することの重要性を説明できる
AA2604-c	転倒・転落が起きやすい患者と状況	医療安全 ●転倒・転落が起きやすい患者をあげられる ●転倒・転落が起きやすい状況をあげられる
AA2604-d	実例から学ぶ転倒・転落防止対策と発生時の対応	医療安全 ●いまから実践する転倒・転落防止対策を1つあげられる
AA2605	もうアワアワしない！安全・確実な輸血投与のキホンのキ	森 有紀 先生 虎の門病院
AA2605-a	血液製剤の基礎	●血液を構成する成分・比率がわかる ●血液製剤ができるまでの流れがわかる ●血液製剤のラベルの見方がわかる ●血液製剤の種類と特徴が説明できる
AA2605-b	輸血の準備と実施	●輸血準備から終了までの流れを説明できる ●輸血検査(血液型検査、交差適合試験)用検体の採血を正しく実施できる ●血液製剤の外観チェックを正しく実施できる ●輸血療法における患者観察のポイントが理解できる
AA2605-c	輸血の副反応への対策	●輸血による主な輸血副反応の種類と概要を理解し、説明できる ●輸血副反応を最小限に抑えるための予防対策を理解し、実践できる ●輸血副反応が発生した場合の対応を正しく行うことができる
AA2605-d	多職種で取り組む輸血療法	●輸血療法を、多職種で取り組む意義を理解できる ●輸血に関するチーム活動としてどのようなものがあるかがわかる ●輸血療法における看護師の役割を理解できる

コード	セッション名・テーマ名	講師・到達目標
AA2606	きょうから始めるキャリアデザ！ ～なりたい自分をイメージしよう～	濱田 安岐子 先生 看護職キャリアサポート
AA2606-a	どうしていまからキャリアデザイン？	キャリア開発 ●いまからキャリアデザインを始める意義について説明できる
AA2606-b	看護師のキャリアのリスクポイント	キャリア開発 ●看護師のキャリアにおいてつまづきがちなポイントが説明できる
AA2606-c	看護師の色々なキャリアを知ろう	キャリア開発 ●看護師にはさまざまなキャリアの選択肢があることを理解できる
AA2606-d	看護師であることに疲れたときのご自愛法	キャリア開発 ●看護師としてこれからも働き続けるためのセルフケアの方法を1つもつことができる
AA2607	「人生の物語」から始まる、高齢患者の心を開く 共感コミュニケーション	小谷 洋子 先生 けいあいの郷 山王台
AA2607-a	人生の先輩世代を知ろう	●高齢者世代の特徴や生きてきた時代、考え方について理解できる ●会話のきっかけとなるトピックスを習得できる
AA2607-b	高齢患者の困りごとを知ろう	●高齢患者が何に困っているのかを想像できる ●医療者へ「迷惑をかけたくない」という心理的な困りごとを想像できる
AA2607-c	一歩先を考えられるコミュニケーション	●高齢患者とのよくある会話を想像し、相手の不安や遠慮からの隠れたニーズをくみ取れる会話ができる
AA2607-d	こんなときどうする？ ～言葉につまるシチュエーションでの対応法～	●高齢患者とのよくある会話のパターンを想定し、自分なりの返し方を準備できる
AA2608	私のキャリアストーリー構築 ～成長するための看護現場学入門～	陣田 泰子 先生 聖マリアンナ医科大学
AA2608-a	なぜ私は、看護師という職業を選んだの？ ～職業選択の動機から看護観へ～	キャリア開発 ●なぜ看護師という職業を選択したのか明確にし、自己の内にある動機について記述できる ●看護現場学について知り、その方法が理解できる
AA2608-b	忘れられない患者の記憶を振り返り、概念化をしてみよう	キャリア開発 ●忘れられない患者の記憶をたどりながら概念化シート①②に記述することができる ●概念化シートと認識の三段階の関係について理解できる
AA2608-c	あなたがこだわる看護の領域は何か？ ～概念化に挑戦してみよう～	キャリア開発 ●概念化シート③④を記述することで、なぜその患者が記憶に残っているのかを考え、自分のなかの気がかりや大切にしている看護について言語化することができる ●ペナールの実践領域分類を参考に、忘れられない患者について「看護の関心領域」を言語化することができる
AA2608-d	あなたが大切にしたい看護とは？ ～言語化し、チームで共有しよう～	キャリア開発 ●これまでに記述した概念化シートを振り返り、シート⑤に《いま大切にしている看護》を言語化できる ●記述した事例について、他者やチームメンバーとともに語り合うことができる
AA2651	実践！ アセスメント力を高める フィジカルイグザミネーション	藤野 智子 先生 聖マリアンナ医科大学病院
AA2651-a	フィジカルイグザミネーション・フィジカルアセスメントの基本	●フィジカルイグザミネーション・フィジカルアセスメントの基本が理解できる
AA2651-b	フィジカルイグザミネーション：呼吸器系	●呼吸器系のフィジカルイグザミネーションがイメージでき、明日からの実践に活かすことができる
AA2651-c	フィジカルイグザミネーション：循環器系	●循環器系のフィジカルイグザミネーションがイメージでき、明日からの実践に活かすことができる
AA2651-d	フィジカルイグザミネーション：脳神経系	●脳神経系のフィジカルイグザミネーションがイメージでき、明日からの実践に活かすことができる
AA2652	できる新人になるための輸液ポンプ・シリンジポンプ 取り扱い心得	西垣 直美 先生 西濃厚生病院
AA2652-a	輸液ポンプの基本	医療安全 IVナース ●輸液ポンプの操作と管理の基本が説明できる
AA2652-b	シリンジポンプの基本	医療安全 IVナース ●シリンジポンプの操作と管理の基本が説明できる
AA2652-c	輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な取り扱い方法	医療安全 IVナース ●輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な取り扱い方法が説明できる
AA2652-d	輸液ポンプ・シリンジポンプのアラームの意味とその対応	医療安全 IVナース ●輸液ポンプ・シリンジポンプのアラームの意味と対応手順が説明できる
AA2653	やさしく学ぶ疼痛管理～痛みを和らげるのは何のため？～	廣橋 猛 先生 永寿総合病院
AA2653-a	いちばん知ってほしい！患者にとっての「痛み」とは何？	IVナース がん看護 ●患者における疼痛の意味を知る ●疼痛の原因や種類を理解できる
AA2653-b	疼痛緩和に最も重要なアセスメントを知る	IVナース がん看護 ●疼痛を評価する方法やツールを理解できる
AA2653-c	疼痛緩和に用いるさまざまな薬を知る	IVナース がん看護 ●疼痛緩和のための薬物療法について説明できる
AA2653-d	薬以外でも痛みは和らぐ！看護師だからこそできるケア	IVナース がん看護 ●疼痛緩和のための非薬物療法とケアについて説明できる ●疼痛緩和において自らの役割を理解できる

コード	セッション名・テーマ名	講師・到達目標
AA2654	多重課題の波を乗り越えさせ ～チームワークを円滑にする整理術・連携術～	小松 歩 先生 諏訪赤十字病院
AA2654-a	多重課題とは	医療安全 ●多重課題の起こる状況を具体的に1つイメージできる
AA2654-b	あなたがとりがちな多重課題発生時の対応	医療安全 ●多重課題発生時に自分がとりがちな対応をイメージすることができる
AA2654-c	多重課題に対応するための方法 ～優先順位を考えるためのヒント～	医療安全 ●予測可能な多重課題、予測不可能な多重課題についてそれぞれの対応方法を述べられる ●多重課題発生時の優先順位の選択についてその基準や理由が説明できる
AA2654-d	チームで多重課題に対応するために必要なこと ～コミュニケーションのポイント～	医療安全 ●多重課題発生時のコミュニケーションと日常の関係性づくりの必要性を理解できる
AA2655	五感フル活用！バイタルサインからどう判断するか	山内 豊明 先生 放送大学大学院
AA2655-a	酸素化を見極める	●最優先は酸素化であることがわかる ●バイタルサインの必要性がわかる
AA2655-b	バイタルサインのとらえ方と活かし方	●バイタルサインは五感で評価できることがわかる ●バイタルサイン・ツインズを4つあげられる
AA2655-c	バイタルサインで迅速診断！ ～いま起きていることを見極める～	●緊急度の評価に役立つバイタルサインが説明できる ●ショックの評価をするためのバイタルサイン適用方法を述べられる
AA2655-d	バイタルサインで急変予測！ ～これから起きることを見逃さない～	●急変の前兆を察知するためのバイタルサインの知識を身につける
AA2656	はじめての褥瘡ケア～予防・発見・悪化防止の基礎知識～	山口 みどり 先生 なごみ訪問看護ステーション
AA2656-a	褥瘡の基礎知識 ～発生機序と好発部位～	●褥瘡の発生機序と好発部位が説明できる ●褥瘡が発生しやすい場面がわかる
AA2656-b	褥瘡のリスクアセスメント	●褥瘡のリスクを予防するためにどのような見極めが必要なのかわかる
AA2656-c	褥瘡と皮膚障害の鑑別	●褥瘡か否かの特徴がわかる ●褥瘡と見分ける必要のある皮膚障害がわかる
AA2656-d	看護師が求められる褥瘡ケア	●急性期褥瘡の特徴がわかり判断ができる ●新人看護師として最低限知っておくべき褥瘡ケアがわかる
AA2657	デキる新人がおさえたい薬物管理の基本	柳田 俊彦 先生 宮崎大学
AA2657-a	安全な薬物管理のための大原則 ～6つのRightを確認しよう～	医療安全 ●薬物管理において起こりやすいエラーが説明できる ●6Rをすべてあげることができる
AA2657-b	看護師が知っておきたい「クスリ」の「リスク」	医療安全 ●看護師が学ぶべき薬物の知識について、情報収集が実践できる
AA2657-c	投薬の流れと看護師の役割	医療安全 ●投薬のプロセスにおいて看護師に求められる役割が説明できる
AA2657-d	安全な投薬のためのコミュニケーション	医療安全 ●投薬におけるコミュニケーションエラーのリスクが理解できる ●エラーが起こりにくいコミュニケーションを実践できる
AA2658	心電図のいろは	鈴木 まどか 先生 順天堂大学
AA2658-a	心電図の基本	●心電図とは何かを理解できる ●12誘導心電図とモニタ心電図の違いを理解できる ●12誘導心電図のとりかたがわかる
AA2658-b	心電図の波形の基礎知識	●心電図の波形の成り立ちを学び、正常な心電図の波形が理解できる ●モニタ心電図にⅡ誘導を使用する理由がわかる
AA2658-c	日常でよくみる不整脈	●期外収縮や心房細動など日常でよくみる波形の特徴について説明できる
AA2658-d	危険な不整脈への対応方法	●危険な不整脈への対応方法をあげられる
AA2659	基礎から学ぶ人工呼吸器の扱い方 ～苦手意識をもたないために～	野口 裕幸 先生 CE野口企画
AA2659-a	人工呼吸器の基本知識	医療安全 ●人工呼吸器を使用する目的を述べることができる
AA2659-b	人工呼吸器装着時の看護ケア	医療安全 ●人工呼吸器装着時の日常生活ケアのポイントを1つあげることができる
AA2659-c	人工呼吸器のアラーム対応	医療安全 ●人工呼吸器のアラームの意味を学び、対応方法がわかる
AA2659-d	挿管・抜管時の準備と介助	医療安全 ●挿管・抜管時に進んで介助できる知識を身につける

コード	セッション名・テーマ名	講師・到達目標
AA2660	もう得意！ 実践に強くなる静脈ルート確保・採血	村丘 寛和 先生 CLINIC FORグループ
AA2660-a	静脈穿刺の注意点 ～解剖学的知識を身につけよう～	医療安全 IVナース ●前腕の血管および神経の走行について穿刺時に注意すべきポイントが説明できる
AA2660-b	さあ、どこに穿刺する？ ～穿刺箇所の選定と穿刺までの流れ～	医療安全 IVナース ●穿刺部位選択の考え方が説明できる ●穿刺までの準備と流れが説明できる
AA2660-c	静脈ルート確保の手技と注意点	医療安全 IVナース ●静脈ルート確保の穿刺から固定までの流れが理解できる ●静脈ルート確保時の注意点が説明できる ●自分自身の実践の手技がイメージできる
AA2660-d	採血の手技と注意点	医療安全 IVナース ●採血の穿刺から抜針までの流れが理解できる ●採血時の注意点が説明できる ●自分自身の実践の手技がイメージできる
AA2661	もう平気！ 実践に強くなる筋肉内注射・皮下注射・皮内注射	村丘 寛和 先生 CLINIC FORグループ
AA2661-a	色々な注射法	医療安全 IVナース ●色々な注射法の目的や特徴を説明できる ●注射で起こり得る有害事象と副作用が説明できる
AA2661-b	筋肉内注射の穿刺部位	医療安全 IVナース ●主な筋肉内注射の穿刺部位と注意点を述べる事ができる
AA2661-c	筋肉内注射の手技と注意点	医療安全 IVナース ●筋肉内注射の穿刺から抜針までの流れが理解できる ●筋肉内注射時の注意点が説明できる ●自分自身の実践の手技がイメージできる
AA2661-d	皮下注射・皮内注射の手技と注意点	医療安全 IVナース ●皮下注射・皮内注射の穿刺から抜針までの流れが理解できる ●皮下注射・皮内注射時の注意点が説明できる ●自分自身の実践の手技がイメージできる
AA2662	初めての急変対応 ～チームの一員として知っておくこと、やるべきこと～	三上 剛人 先生 吉田学園医療歯科専門学校
AA2662-a	急変とはなんですか？	●急変とはどのような状態か述べる事ができる
AA2662-b	急変を見抜く観察のポイント	●急変を見抜く方法を知ることができる
AA2662-c	急変発生時のあなたの行動	●急変発生時にとるべき行動を考える事ができる
AA2662-d	心肺蘇生のパフォーマンスを上げるポイント	●効果的な心肺蘇生の技術を確認できる
AA2663	はじめにおさえておきたい看護記録の心得	藤田 比左子 先生 創世看匠
AA2663-a	看護記録に対するマインドセット	●看護記録の法的義務と責任について説明できる ●看護記録の定義と目的について説明できる
AA2663-b	看護記録の意義と適切性の基本	●看護記録の意義について説明できる ●適切な看護記録の主な基本的要素を説明できる
AA2663-c	適切な看護記録の記載 ～SOAP形式を例に～	●適切な看護記録の書き方について理解し、明日から実践することができる ●SOAP形式での構成と内容を説明できる
AA2663-d	事例で学ぶ看護実践を保証する看護記録	●看護実践を保証する看護記録の構成を説明できる ●看護記録の目的を理解し、看護記録を書く際に活かすことができる
AA2664	安全・安楽な食事介助について理解しよう！	飯原 由貴子 先生 食べたい-おくちから 代表
AA2664-a	摂食嚥下のプロセスについて	●摂食嚥下の5期モデルについて理解できる
AA2664-b	食事介助に潜むリスク ～誤嚥・窒息の予防～	●誤嚥・窒息を予防するための方法や注意点についてわかる
AA2664-c	食事介助の基本 ～適切な準備と介助方法～	●安全で効果的な食事介助の方法がわかる
AA2664-d	食事形態の調整と段階的アップの必要性	●飲み込みに注意が必要な食品の特性と食事形態調整の必要性、段階的な食事形態アップについて理解できる
AA2665	看護のコア～変わらないもの、変わるもの～	川本 利恵子 先生 湘南医療大学
AA2665-a	歴史からひも解く看護の歩み	●今日に至る看護の歩みを自分の言葉で説明できる ●看護とは何か、その本質を説明できる ●看護の歩み（歴史）からひも解き、看護の価値を説明できる
AA2665-b	近年の日本社会の変化と看護の役割・機能	●看護を取り巻く社会の変化について自分の言葉で説明できる ●これからの社会における看護のあり方について自分の言葉で説明できる
AA2665-c	レジェンドから学ぶ看護のコア	●レジェンドたちの看護論から、現在も変わらないものと変わってきたものを見出し、言語化できる
AA2665-d	看護の専門性と自律性の追求	●これからも看護者として生きるために必要な専門性と自律性について、自分の言葉で説明できる

コード	セッション名・テーマ名	講師・到達目標
AA2666	夜勤独り立ちへの心構え	比留間 ゆき乃 先生 兵庫医科大学病院
AA2666-a	夜勤の看護業務とは ～日勤との違い～	●夜勤の日勤との違いを知り、夜勤で求められる看護業務の特徴がわかる
AA2666-b	夜勤で求められる実践力	●夜勤独り立ちに向けて、向上が必要な自身の実践力がわかる
AA2666-c	夜間に起こりがちな患者対応	●夜間に起こりがちな患者の状態を想定することができる
AA2666-d	夜勤で体調を崩さないために	●夜勤前後の生活のリズムを整える方法がわかる
AA2667	新人看護師の1日～日勤密着でわかる独り立ちへの道筋～	入学 佐美里 先生 医療法人社団 顕鐘会
AA2667-a	新人看護師の1日 ～日勤密着でわかる独り立ちへの道筋～	●新人看護師の日勤のタイムスケジュールがイメージできる
AA2668	続く！ はかどる！ 社会人の勉強法	看護師のかげさん 先生
AA2668-a	続く！ はかどる！ 社会人の勉強法	●自分に合った勉強法をみつけ、明日から実践することができる
AA2669	自分の考え方のクセを知ろう	内藤 知佐子 先生 愛媛大学医学部附属病院
AA2669-a	自分の考え方のクセを知ろう	●自分の考え方のクセに引きずられないための方法を1つあげられる

認知症患者・家族の課題への対処を学び、高齢者ケアにおける看護実践能力の向上をめざす



コード	セッション名・テーマ名	講師・到達目標
BDA2601	<事故防止編>認知症ケアの現場で起こりやすい医療事故を予防するための工夫と対応	鈴木 みずえ 先生 浜松医科大学
BDA2601-a	認知症ケアの現場における転倒・骨折予防の医療安全上のリスクと考え方	医療安全 ●認知症ケアの現場における医療安全、特に転倒・骨折のリスクを説明できる
BDA2601-b	認知症ケアの現場で起きやすい転倒・骨折事故とその対策～排泄・痛み・せん妄に関連した転倒～	医療安全 ●認知症ケアの現場で起きやすい転倒事故とその対策について理解できる ●痛みや苦痛、排泄動作、車椅子からの立ち上がり、不安・混乱・せん妄に関連した転倒予防の対策について理解できる
BDA2601-c	事故予防のための工夫とポイント	医療安全 ●事故予防のための工夫とポイントを1つあげることができる
BDA2602	<倫理編>認知症ケアにおける看護倫理	山上 智子 先生 勤医協中央病院
BDA2602-a	認知症ケアにおける看護倫理の基礎知識	倫理 ●認知症ケアにおける看護倫理の基礎知識を理解できる
BDA2602-b	認知症ケアの現場における倫理的課題と意思決定支援	倫理 ●認知症ケアの現場における倫理的課題と意思決定支援のポイントを1つあげることができる
BDA2602-c	倫理的視点からみる認知症ケアの未来	倫理 ●倫理的視点をふまえた対応の必要性がわかる
BDA2651	<医学編1>認知症にみる原因疾患とその症状・治療法	古田 伸夫 先生 浴風会病院
BDA2651-a	認知症の主な症状	●認知症の定義がわかる ●認知機能障害・生活機能障害についてわかる
BDA2651-b	認知症の主な原因疾患	●認知症の主な原因疾患とその特徴についてわかる ●治療可能な認知症についてわかる
BDA2651-c	認知症の治療方法～薬物療法・非薬物療法～	●認知症に対する治療の目標がわかる ●認知症に対する非薬物的治療、薬物治療がわかる
BDA2652	<医学編2>事例から学ぶ認知症とせん妄	古田 伸夫 先生 浴風会病院
BDA2652-a	認知症とせん妄の違い	●認知症とせん妄の違いが理解できる ●せん妄のサブタイプ、症状、3因子がわかる ●せん妄の対応・予防のポイントがわかる
BDA2652-b	行動・心理症状 (BPSD)	●BPSDの特徴がわかる ●BPSDの主な症状と分類がわかる ●BPSDの評価・対応・予防のポイントがわかる
BDA2652-c	事例にみるケアのポイント	●症状に応じたケアのポイントがわかる
BDA2653	<看護編1>治療を受ける認知症の人の看護のための基本的な考え方とアセスメント・ケア	杉山 智子 先生 順天堂大学
BDA2653-a	認知症の人にかかわるための基本的な考え方	●認知症の人にかかわるための基本的な考え方が理解できる
BDA2653-b	認知機能障害を把握するためのポイント	●認知機能障害の特徴を理解できる ●認知機能障害を把握するためのポイントを理解できる
BDA2653-c	認知機能障害に伴う日常生活動作への支障を把握するためのポイント	●認知機能障害がどのような生活上の支障をもたらすか知ることができる ●生活障害のアセスメントのポイントが理解できる
BDA2654	<看護編1 事例動画>治療を受ける認知症の人の看護のための基本的な考え方とアセスメント・ケア	杉山 智子 先生 順天堂大学
BDA2654-a	治療を受ける認知症の人との対応場面でのアセスメント	●治療を受ける認知症の人との対応場面におけるアセスメントができる
BDA2654-b	期待する行動をしてもらえない場面でのアセスメント	●看護師が期待する行動をしない認知症の人への対応のポイントが理解できる
BDA2654-c	生活障害のアセスメント～食事の場面～	●認知機能障害による生活障害をとらえることができる ●生活障害への対応を1つ以上考えることができる
BDA2655	<看護編2>治療を受ける認知症の人とのコミュニケーションの方法と環境調整のポイント	湯浅 美千代 先生 順天堂大学
BDA2655-a	認知症の人とのコミュニケーションの原則	●治療を受ける認知症の人に対するコミュニケーションの原則を理解し実践に活用できる
BDA2655-b	認知症の人とのコミュニケーション上の留意点	●認知症の人との情報のやりとりをしやすくするポイントを理解してかかわることができる ●認知症の人とのコミュニケーションを楽しむことができる
BDA2655-c	療養環境調整のポイント	●認知症の人の能力が発揮しやすくする環境調整のポイントを理解し実践に活用できる

コード	セッション名・テーマ名	講師・到達目標
BDA2656	<看護編2 事例動画> 治療を受ける認知症の人とのコミュニケーションの方法と環境調整のポイント	湯浅 美千代 先生 順天堂大学
BDA2656-a	会話がかみ合わない場面での対応方法	●かみ合わない会話の原因を考えることができる ●認知症の人の気持ちに配慮した話の進め方を考えることができる
BDA2656-b	対応に困る場面でのかかわり方	●認知症の人の言動の意味、原因を考えることができる ●その場に適したかかわり方を考えることができる
BDA2656-c	認知症の人の尊厳を損なう対応	●自分たちが行っているスピーチロック(言葉による行動の制限)に気づくことができる ●自分たちが認知症の人の尊厳を損なっていることに気づくことができる
BDB2601	事例にみる二次性骨折の予防	田中 雅博 先生 りんくう永山病院
BDB2601-a	二次性骨折の基礎知識と発生要因の理解	●二次性骨折の基礎知識と発生要因を理解できる
BDB2601-b	骨折リエゾンサービスと骨粗鬆症リエゾンサービス	●骨折リエゾンサービスと骨粗鬆症リエゾンサービスについて説明できる
BDB2601-c	二次性骨折予防継続管理加算の概要と取り組み	●二次性骨折予防継続管理加算の概要を理解できる
BDB2602	メンタルヘルスの観点からみる高齢者ケア ～医療職に求められるアプローチ～	鈴木 恵 先生 獨協医科大学大学院
BDB2602-a	高齢者のメンタルヘルス課題と理解	●高齢者のメンタルヘルス課題について理解できる
BDB2602-b	医療職に求められる高齢者のメンタルヘルスケアの実践	●メンタルヘルスケアについて理解し実践に活用できる
BDB2602-c	高齢者の尊厳を守るケアをするために	●高齢者の尊厳を守るケアをするために必要な考え方を1つあげることができる
BDB2603	高齢者の慢性疾患の重症化予防を考える～糖尿病編～	柏崎 純子 先生 日本看護協会
BDB2603-a	高齢の糖尿病患者の特徴と重症化リスクの理解	●高齢の糖尿病患者の特徴と重症化リスクについて理解できる
BDB2603-b	重症化予防のためのセルフケアへの支援	●重症化予防のためのセルフケアへの支援について理解できる
BDB2603-c	重症化予防のための多職種協働	●多職種と協働する必要性と多職種協働を理解できる
BDB2604	高齢者のQOD(死の質)を高める終末期ケア	北村 恵子 先生 浅井東診療所
BDB2604-a	QODの概念と高齢者終末期ケアの現状	●QODの概念について理解できる
BDB2604-b	高齢者のニーズに応えた終末期ケアの実践	●高齢者のニーズに応えた終末期ケアの実践について理解できる
BDB2604-c	認知症高齢者の「QOD」を高めるために必要な手立て	●認知症高齢者の「QOD」を高めるためのポイントを1つあげることができる
BDB2651	サルコペニア・フレイル予防のために看護師ができること	永野 彩乃 先生 西宮協立脳神経外科病院
BDB2651-a	サルコペニア・フレイルとは	●サルコペニアとフレイルがわかる
BDB2651-b	栄養面から考える看護ケア	●栄養面をふまえた看護ケアの方法がわかる
BDB2651-c	運動面から考える看護ケア	●運動面をふまえた看護ケアの方法がわかる
BDB2652	看護師が知っておきたい食事介助の心得	永野 彩乃 先生 西宮協立脳神経外科病院
BDB2652-a	摂食嚥下障害にかかわる看護ケア	●摂食嚥下障害にかかわる看護ケアの考え方がわかる
BDB2652-b	食事介助の観察項目	●食事介助の観察項目がわかる
BDB2652-c	食事介助における事故事例	●食事介助における事故リスクを予測できる
BDB2653	ADL低下につながる高齢者の脳卒中	川合 茜 先生 中村記念病院
BDB2653-a	高齢者に多い脳卒中	●高齢者に多い脳卒中の種類と特徴がわかる
BDB2653-b	脳卒中で知っておきたい高齢者看護ケア ～迅速な治療につなげるために～	●脳卒中における迅速な治療につなげるための高齢者看護ケアの基本的な進め方がわかる
BDB2653-c	脳卒中で知っておきたい高齢者看護ケア ～再発防止のポイント～	●脳卒中の再発防止のための高齢者看護ケアの基本的な進め方がわかる
BDB2654	高齢者の褥瘡形成の特徴	政田 美喜 先生 三豊総合病院
BDB2654-a	高齢者に多い褥瘡の特徴とリスクアセスメント	●高齢者に多い褥瘡の特徴とリスクアセスメントがわかる
BDB2654-b	褥瘡予防のための基本的看護ケア ～ポジショニング・スキンケア・栄養管理～	●褥瘡予防のための基本的看護ケアがわかる
BDB2654-c	褥瘡発生後の創傷観察と基本的看護ケア	●褥瘡発生後の創傷の評価と基本的看護ケアがわかる

他職種を知り、自らの専門性を再発見する



コード	セッション名・テーマ名	講師・到達目標
FAA2601	患者の継続的支援に向けた多職種連携 ～栄養療法と運動療法を効果的にサポートする方法～	千葉 一幸 先生 東北医科薬科大学病院
FAA2601-a	多職種連携が患者の継続的支援に与える影響	多職種連携 リハビリテーション ●患者の継続的支援における多職種連携の重要性が理解できる
FAA2601-b	栄養・運動サポートにおける各職種の役割	多職種連携 リハビリテーション ●栄養・運動サポートにおける各職種の役割が理解できる
FAA2601-c	事例：多職種連携で行う心不全患者への栄養療法と運動療法の実際	多職種連携 リハビリテーション ●事例を通じて、多職種連携を円滑に進めるために明日から取り組む課題を1つあげることができる
FAA2602	日本の生活 ～日本の病院で働き始めたみなさんのために～	三木 紅虹 先生 国際活動市民中心 CINGA
FAA2602-a	病院で出会う人が大切にしていること	多職種連携 ●病院で出会う人が大切にしていることや、気をつけていることがわかる
FAA2602-b	病院で出会う人とのコミュニケーション	多職種連携 ●病院で出会う人がコミュニケーションで気をつけていることがわかる
FAA2602-c	こんなときどうしましょう	多職種連携 ●困ったときの相談のしかたがわかる
FAA2603	多職種が専門性を発揮する身体的拘束最小化 ～リハ職の視点から～	小諸 信宏 先生 セコメディック病院
FAA2603-a	リハ職からみた身体的拘束のジレンマ	多職種連携 リハビリテーション 倫理 ●職種による身体的拘束に対する視点の違いを理解できる
FAA2603-b	各職種による評価・アプローチの強み	多職種連携 リハビリテーション 倫理 ●各職種によって異なる身体的拘束の評価・アプローチが理解できる
FAA2603-c	リハ職と協働する身体的拘束最小化へのチームアプローチ	多職種連携 リハビリテーション 倫理 ●身体的拘束最小化へのチームアプローチについて、リハ職と協働するイメージができる
FAA2604	多職種ガチンコトーク！～普段どんなこと思ってる？～	牧田リハビリテーション病院の皆様
FAA2604-a	多職種ガチンコトーク！ ～普段どんなこと思ってる？～	多職種連携 リハビリテーション ●職種によって異なる思いがあることを理解し、自施設での職種間コミュニケーションに活かすことができる
FAA2651	早期離床・早期退院に向けたチームでの取り組み	楠川 翠里 先生 みんなのかけりつけ訪問看護ステーション
FAA2651-a	早期離床・早期退院の重要性	多職種連携 ●早期離床・早期退院がなぜ重要なのか説明できる ●早期離床・早期退院にかかわる診療報酬が理解できる
FAA2651-b	早期離床・早期退院に向けた各職種の役割	多職種連携 ●早期離床・早期退院に向けた各職種の役割が説明できる
FAA2651-c	チームで行う早期離床に向けた介入	多職種連携 ●早期離床・早期退院に向けたチームでの取り組みとして、自施設でできることをあげられる
FAA2652	「リハビリテーション・栄養・口腔管理」の一体的取り組みの 進め方～実践事例からヒントを得よう～	宮島 功 先生 近森病院
FAA2652-a	入院早期にリハビリテーション・栄養・口腔管理を 一体的に行うことの重要性	多職種連携 ●入院早期にリハビリテーション・栄養・口腔管理を一体的に行うことの重要性を説明 することができる
FAA2652-b	リハビリテーション・栄養・口腔管理を 多職種でやってみよう！	多職種連携 ●多職種でできるリハビリテーション・栄養・口腔管理の一体的取り組みを知り、 自施設で実施するイメージができる
FAA2652-c	事例：リハビリテーション・栄養・口腔管理の 一体的取り組みの実際	多職種連携 ●事例を通じて一体的取り組みを知り、明日から取り組む課題を1つあげることが できる
FAA2653	多職種ロールプレイをやってみよう～身体的拘束防止編～	小坂 智恵子 先生 東京都リハビリテーション病院
FAA2653-a	多職種ロールプレイって何？	多職種連携 ●多職種ロールプレイの目的と意義が説明できる ●ロールプレイの種類と活用が理解できる
FAA2653-b	多職種ロールプレイに必要なこと	多職種連携 ●ロールプレイを効果的に行うためのポイント、留意点が理解できる ●多職種ロールプレイの計画が立てられる
FAA2653-c	やってみよう！多職種ロールプレイ ～身体的拘束事例をもとに考えてみよう～	多職種連携 ●多職種ロールプレイを自施設で開催するイメージができる

コード	セッション名・テーマ名	講師・到達目標
FAA2654	教えてPTさん！腰にやさしく患者さんに負担をかけない移乗方法	豊田 輝 先生 帝京科学大学
FAA2654-a	本当に大丈夫？その移乗	多職種連携 ●事例動画を通じてこれまでの自身の移乗動作介助方法を振り返ることができる
FAA2654-b	移乗の動きを分析しよう	多職種連携 ●移乗動作を構成するそれぞれの動作におけるボディメカニクスを理解し、患者および介助者にとって負担のない動きをイメージできる
FAA2654-c	これでカンペキ！移乗の実践	多職種連携 ●移乗動作介助における動作のボディメカニクスを理解したうえで、患者の機能・能力に対するアセスメントを行い、その結果をふまえて適切な移乗動作介助方法が選択・実践できる
FAA2655	ADLの維持・向上のために看護師ができること～ICFの考え方からパーセルインデックス (BI) まで～	武原 格 先生 東京都リハビリテーション病院
FAA2655-a	ADLを測る必要性とは	リハビリテーション ●医療から生活への視点の変化をふまえて、ADL測定の必要性を説明できる
FAA2655-b	国際生活機能分類 (ICF) の考え方～背景因子を含めた共通言語としての役割～	リハビリテーション ●国際生活機能分類 (ICF) における基本的な考え方と各要素の相互関係について説明できる
FAA2655-c	パーセルインデックス (BI) の活用～ADL測定指標を知り活用する～	リハビリテーション ●パーセルインデックス (BI) の測定方法と診療報酬上の活用について説明できる
FAA2655-d	事例：チームで取り組むADL向上～情報共有と工夫～	リハビリテーション ●事例を通じてADL指標を用いたチームでの取り組みを知り、自施設における課題を1つあげることができる
FAA2656	急性期から在宅までの効果的な口腔ケアと医科歯科連携～多職種連携による包括的なアプローチ～	白石 愛 先生 フリーランス歯科衛生士
FAA2656-a	口腔の健康維持の重要性	多職種連携 ●口腔の健康維持の重要性について説明できる
FAA2656-b	高齢者の口腔ケアの現状と課題	多職種連携 ●高齢者の口腔ケアの現状と課題について説明できる
FAA2656-c	医科歯科連携で取り組む口腔ケア	多職種連携 ●医科歯科連携で取り組む口腔ケアをするために看護師としてできることを1つあげることができる
FAA2656-d	事例：多職種で取り組む口腔ケア	多職種連携 ●事例を通じて多職種による口腔ケアについて知り、明日から取り組む課題を1つあげることができる
FAB2601	患者の暮らしを整える！医療ソーシャルワーカーとの連携	川添 芽衣子 先生 済生会滋賀県病院
FAB2601-a	患者の暮らしを整える！医療ソーシャルワーカーとの連携	多職種連携 ●チーム医療における医療ソーシャルワーカーの役割について説明できる ●医療ソーシャルワーカーとの連携について、明日から実践できることを1つあげられる
FAB2602	円滑な連携で生命を守る！病院救急救命士との連携	中山 遼介 先生 埼玉石心会病院
FAB2602-a	円滑な連携で生命を守る！病院救急救命士との連携	多職種連携 ●チーム医療における病院救急救命士の役割について説明できる ●病院救急救命士との連携について、明日から実践できることを1つあげられる
FAB2651	チーム力を底上げする！薬剤師との連携	百瀬 智恵 先生 牧田リハビリテーション病院
FAB2651-a	チーム力を底上げする！薬剤師との連携	多職種連携 ●チーム医療における薬剤師の役割について説明できる ●自らの業務における薬剤師との連携について明日から実践できることを1つあげられる
FAB2652	患者の生きる力を支える！管理栄養士との連携	大島 真理子 先生 多摩北部医療センター
FAB2652-a	患者の生きる力を支える！管理栄養士との連携	多職種連携 ●チーム医療における管理栄養士の役割について説明できる ●自らの業務における管理栄養士との連携について明日から実践できることを1つあげられる
FAB2653	地域の健康を守る！保健師との連携	堀間 華世 先生 保健師
FAB2653-a	地域の健康を守る！保健師との連携	多職種連携 ●多職種連携における保健師の役割について説明できる ●自らの業務における保健師との連携について明日から実践できることを1つあげられる
FAB2654	患者の自立支援につなげる！理学療法士との連携	出島 慶之 先生 牧田リハビリテーション病院
FAB2654-a	患者の自立支援につなげる！理学療法士との連携	多職種連携 ●チーム医療における理学療法士の役割について説明できる ●自らの業務における理学療法士との連携について明日から実践できることを1つあげられる
FAB2655	患者のADLを高める！作業療法士との連携	泉 真理 先生 牧田リハビリテーション病院
FAB2655-a	患者のADLを高める！作業療法士との連携	多職種連携 ●チーム医療における作業療法士の役割について説明できる ●自らの業務における作業療法士との連携について明日から実践できることを1つあげられる

コード	セッション名・テーマ名	講師・到達目標
FAB2656	患者の生きる世界を広げる！ 言語聴覚士との連携	半田 央梨緒 先生 牧田リハビリテーション病院
FAB2656-a	患者の生きる世界を広げる！ 言語聴覚士との連携 多職種連携	<ul style="list-style-type: none"> ●チーム医療における言語聴覚士の役割について説明できる ●自らの業務における言語聴覚士との連携について明日から実践できることを1つあげられる
FAB2657	患者の望む暮らしを支える！ ケアマネジャーとの連携	永沼 明美 先生 光が丘訪問看護ステーション
FAB2657-a	患者の望む暮らしを支える！ ケアマネジャーとの連携 多職種連携	<ul style="list-style-type: none"> ●チーム医療におけるケアマネジャーの役割について説明できる ●患者が退院後どのような生活をしているのか想像することができる ●ケアマネジャーとの連携について、明日から実践できることを1つあげられる
FAB2658	健康的な暮らしの基本をつくる！ 歯科衛生士との連携	坂井 鮎 先生 藤田医科大学病院
FAB2658-a	健康的な暮らしの基本をつくる！ 歯科衛生士との連携 多職種連携	<ul style="list-style-type: none"> ●チーム医療における歯科衛生士の役割について説明できる ●自らの業務における歯科衛生士との連携について明日から実践できることを1つあげられる
FAB2659	暮らしのなかでもてる力を発揮する！ 介護福祉士との連携	石本 淳也 先生 熊本県介護福祉士会
FAB2659-a	暮らしのなかでもてる力を発揮する！ 介護福祉士との連携 多職種連携	<ul style="list-style-type: none"> ●チーム医療における介護福祉士の役割について説明できる ●自らの業務における介護福祉士との連携について明日から実践できることを1つあげられる

「知りたい」のきっかけになるチェック動画がいつでも視聴可能！



コード	カテゴリ	テーマ名
MV0100-a	与薬 (輸液ポンプ・シリンジポンプ)	輸液ポンプ・シリンジポンプ
MV0200-a	感染対策	あなたの手はきれいですか
MV0200-b		手指消毒
MV0200-c		手洗い
MV0200-d		嘔吐物・排泄物の処理方法
MV0200-e		個人防護具の着用方法
MV0200-f		個人防護具のはずし方
MV0200-g		咳エチケット
MV0300-a	救急救命処置 (急変対応)	前日の患者との会話から予測 (良い例・悪い例)
MV0300-b		急変患者の気づき
MV0300-c		急変患者発見時の対応
MV0400-a	社会人基礎力 (接遇)	クレーム対応
MV0400-b		ことばの伝え方
MV0400-c		挨拶のポイント
MV0400-d		お悩み解決ラボ ～コミュニケーション編～
MV0400-e		お悩み解決ラボ ～感情のコントロール編～

コード	カテゴリ	テーマ名
MV0500-a	医療安全 (アンガーマネジメント)	怒っている人がいたら
MV0500-b		場所の優劣
MV0500-c		距離を取る
MV0500-d		それぞれの場面で
MV0600-a	チーム医療 (多職種カンファレンス)	共有編 (よくない例・よい例)
MV0600-b		基本編 (よくない例・よい例)
MV0600-c		実践編 (よくない例・よい例)
MV0700-a	呼吸	咳嗽の介助
MV0700-b		呼吸介助法～臥位～
MV0700-c		呼吸介助法～座位～
MV0700-d		ハフィング～座位～
MV0700-e		口鼻腔吸引
MV0700-f		閉鎖式吸引
MV0800-a	注射・採血	静脈血採血
MV0800-b		筋肉内注射
MV0800-c		皮下注射
MV0800-d		静脈注射
MV0900-a	シミュレーション教育	急変対応シミュレーション
MV0900-b		接遇シミュレーション

院内全体研修コース

医療施設で働くすべての方に知ってほしい・身につけてほしいテーマ

全テーマ年間配信

医療安全関連

監修 杉山 良子 先生 一般社団法人 医療安全全国共同行動 改善アドバイザー、
パラマウントベッド株式会社 顧問、転倒転落研究会 (RoomT2) 主幹 / 看護師

1テーマ約10分

リスクへの感性を磨き、チーム一丸となって医療安全の精度を高める



コード	セッション名・テーマ名	講師・到達目標
CA2601	患者との対話をもたらず医療安全	荒神 裕之 先生 山梨大学大学院
CA2601-a	患者との対話で相互理解を深め実現する医療安全	医療安全 ●患者との対話により深められた相互理解を、医療安全にどのようにつなげることができるか説明できる
CA2601-b	多職種で取り組む 診断関連エラー予防の考え方	医療安全 ●「診断」の範囲と診断関連エラーを起こさないための対策について説明できる
CA2601-c	患者と医療者の対話プロセスが 医療訴訟リスクの低減につながる	医療安全 ●患者との対話により深められた相互理解を、医療訴訟リスクの低減にどのようにつなげることができるか説明できる
CA2602	医療事故をしきりで防ぐ～ヒューマンエラーは避けられない～	田畑 雅央 先生 東北大学病院
CA2602-a	ヒューマンエラーはなぜ起こるか	医療安全 ●ヒューマンエラーは起こるものと理解し、その発生原因を説明できる
CA2602-b	ヒューマンエラーを軽減するには	医療安全 ●ヒューマンエラーを軽減するためのしきみを説明できる
CA2602-c	エラー報告を責めない組織文化の醸成	医療安全 ●エラー報告がしやすい組織文化を醸成するために必要なことを1つあげられる
CA2651	医療安全文化の醸成～現在の課題を原点に戻って考えよう～	小林 美雪 先生 山梨医療安全研究会
CA2651-a	医療を取り巻く現状と安全の課題	医療安全 ●日本の医療を取り巻く現状と安全の課題を知り、自施設の課題から医療安全対策を考える
CA2651-b	医療安全文化を醸成するための考え方 ～医療安全文化の理解～	医療安全 ●「安全文化の醸成とは」を理解し、自施設の安全文化を醸成する方策を考える
CA2652	組織の医療安全文化を支えるインシデントレポートと 報告書管理体制を知ろう！	高山 詩穂 先生 聖徳大学
CA2652-a	インシデントレポートが医療安全文化になぜ必要か	医療安全 ●インシデントレポートがなぜ必要か理解する
CA2652-b	事例から得た教訓をいかに改善につなげるか	医療安全 ●インシデント・アクシデント発生時における組織の一般的な報告体制の概要を知る ●報告書管理体制の概要と必要性が理解できる
CA2653	形骸化させない！安全確保につながる確認業務	田中 健次 先生 電気通信大学
CA2653-a	確認業務を確実に実施するために	医療安全 ●おちいりやすい誤った確認方法を知り、各タイミングでの適切な確認方法を理解する ●確認作業の形骸化は禁物。確認の目的を理解し、ミスにより発生する事故を予測し、的確な確認作業を実施する
CA2653-b	効果的なダブルチェックを実施するために	医療安全 ●ダブルチェックの落とし穴を理解し、多重化ではなく多様性を取り入れた有効なダブルチェックの方法を身につける
CA2654	医療安全文化醸成のための感性を磨く ～TeamSTEPPS®・5Sのすすめ～	辰巳 陽一 先生 近畿大学病院
CA2654-a	チーム医療における5Sの意味を考えよう	医療安全 ●チーム医療における5Sの意味について理解することができる
CA2654-b	TeamSTEPPS®の理解	医療安全 ●心理的安全性のあるチームをつくるための、チームの共通概念であるTeamSTEPPS® について述べるることができる
CA2699	動画で実践！みんなで取り組むKYT！ ～KYT事例動画アーカイブ～	黒川 美知代 先生 日本赤十字社
CA2699-a	動画で実践！みんなで取り組むKYT！ ～KYT事例動画アーカイブ～	医療安全

基本の徹底が感染対策の肝！ あなたはできていますか？ 正しい感染予防対策



コード	セッション名・テーマ名	講師・到達目標
CB2601	感染対策ベストプラクティス 感染経路のいまと予防策の基本	豊留 有香 先生 名古屋大学医学部附属病院
CB2601-a	感染対策の基本 ～標準予防策を理解しよう～	感染対策 ●標準予防策の考え方を理解し、日々の業務で適切な対策を実施できる
CB2601-b	感染経路の基本	感染対策 ●感染経路は何かがあるかを知り、説明できる ●感染経路を遮断するための感染対策を理解し、実践をイメージできる
CB2601-c	感染経路別対策の基本	感染対策 ●感染経路別対策の考え方を理解し、日々の業務で適切な対策を実施できる
CB2602	感染対策ベストプラクティス ノロウイルス感染症対策	尾崎 明人 先生 朝日大学病院
CB2602-a	ノロウイルス感染症の基本と食中毒の動向	感染対策 ●ノロウイルスの特徴を理解できる ●食中毒の動向を説明することができる
CB2602-b	ノロウイルス感染症の予防	感染対策 ●ノロウイルスの感染経路を知り、予防上の注意点をあげることができる
CB2602-c	ノロウイルス感染症への対策	感染対策 ●吐瀉物の処理を含めた、ノロウイルス感染者への対応について理解できる
CB2603	感染対策ベストプラクティス 季節性インフルエンザ・ 新型コロナウイルス感染症	仲田 勝樹 先生 江南厚生病院
CB2603-a	季節性インフルエンザウイルス感染症の基本と動向	感染対策 ●季節性インフルエンザウイルス感染症の基本と流行状況の特徴を知り、次のアウトブレイクへの備えとなる取り組みをあげることができる
CB2603-b	新型コロナウイルス感染症のいま ～5類感染症になって～	感染対策 ●新型コロナウイルス感染症について、5類移行後の留意点と対応上の注意点をあげることができる
CB2603-c	インパウンドの増加による感染症への備え	感染対策 ●インパウンド増加による感染症の動向を知り、感染予防策の基本をあげ、実践できる
CB2604	医療従事者として知っておきたい薬剤耐性菌の基本と対策	島崎 豊 先生 NPO法人 日本・アジア口腔保健支援機構
CB2604-a	薬剤耐性菌の基本	感染対策 ●薬剤耐性菌の基本を知り、なぜ薬剤耐性菌の対策が必要かを説明できる
CB2604-b	薬剤耐性菌の近年の動向と注意すべき薬剤耐性菌	感染対策 ●薬剤耐性菌の近年の動向と注意すべき薬剤耐性菌を知り、説明できる
CB2604-c	薬剤耐性菌の院内感染対策	感染対策 ●薬剤耐性菌の感染対策を理解し、明日から取り組める実践内容をあげることができる
CB2604-d	アウトブレイク発生時の対応	感染対策 ●薬剤耐性菌のアウトブレイクが発生したときの対応がわかる
CB2605	針刺し切創、皮膚・粘膜曝露を未然に防ぐ！ 安心・安全を 確保するための対策	島崎 豊 先生 NPO法人 日本・アジア口腔保健支援機構
CB2605-a	針刺し切創、皮膚・粘膜曝露の現状	感染対策 ●針刺し切創と皮膚・粘膜曝露の現状を知り、なぜ針刺し切創が問題となるのかを説明できる
CB2605-b	針刺し切創、皮膚・粘膜曝露を防止するための対策	感染対策 ●針刺し切創、皮膚・粘膜曝露を防止するための対策を理解し、明日から取り組める実践内容をあげることができる
CB2605-c	針刺し切創、皮膚・粘膜曝露による感染リスクと発生時の対応	感染対策 ●針刺し切創、皮膚・粘膜曝露の発生時の感染リスクと対応を知り、いざというとき実践できる
CB2651	アウトブレイクを回避しよう～注意すべき感染症とその対策～	島崎 豊 先生 NPO法人 日本・アジア口腔保健支援機構
CB2651-a	注意すべき感染症の動向 ～麻疹・風疹など～	感染対策 ●注意すべき感染症の種類をあげることができる
CB2651-b	注意すべき感染症への対応策	感染対策 ●注意すべき感染症の特徴をふまえた対応策をあげることができる
CB2651-c	ワクチンを有効に活用するために	感染対策 ●ワクチンの特徴を知り、抗体価確認方法がわかる
CB2652	抗菌薬使用の実際と適正使用	高橋 弘泰 先生 海南病院
CB2652-a	抗菌薬投与の基本 ～患者モニタリング～	感染対策 ●感染症がどの診療科でも起こり得る疾患であることをふまえ、感染症患者のモニタリングに必要な感染症診療の基本を理解する ●抗菌薬投与を開始するまでを中心に、感染症治療の流れを理解できる ●感染症治療に必要な情報を確認できる
CB2652-b	抗菌薬投与の基本 ～敗血症について～	感染対策 ●年齢・性別を問わず誰もが罹患し得る敗血症の概念をふまえ、原因や症状、危険性を正しく理解できる ●敗血症の診断と治療の流れがわかる ●ショックや著しい臓器障害により死に至る場合もあることを理解し、医療チームの一員として、正しい知識を身につける
CB2652-c	抗菌薬の適正使用	感染対策 ●抗菌薬の適正使用の目的を説明できる ●医師がどのようなことを考えて抗菌薬の選択をするのかを知り、抗菌薬の適正使用の一連のプロセスを説明できる
CB2652-d	薬剤耐性 (AMR) 対策に必要な実践上の注意点	感染対策 ●世界的な問題となっている薬剤耐性菌についての知識を身につける ●心がけるべき薬剤耐性 (AMR) 対策を知り、明日から取り組む実践内容をあげることができる

多様化する時代のなかで立ち止まり、考え続けるあなたのために



コード	セッション名・テーマ名	講師・到達目標
CD2601	臨床倫理概論	竹下 啓 先生 東海大学
CD2601-a	臨床倫理とは	倫理 ●臨床倫理とは何か説明できる
CD2601-b	倫理的アプローチの方法	倫理 ●倫理的アプローチの方法を1つあげて説明できる
CD2601-c	明日から臨床倫理を活かそう	倫理 ●明日からの自身の業務において臨床倫理を活かす方法を1つあげられる
CD2602	みんなで考える！ 倫理カンファレンス	竹下 啓 先生 東海大学
CD2602-a	倫理カンファレンスとは	倫理 ●倫理カンファレンスとはどのような活動かを説明できる
CD2602-b	倫理カンファレンスの進め方	倫理 ●倫理カンファレンスの実際の進め方を知り、明日から実践できる
CD2602-c	倫理コンサルテーションへの相談 ～困ったときには頼りにしよう～	倫理 ●倫理コンサルテーションの存在を知り、利用のしかたを検討できる
CD2603	日々のケアに活かす看護職の倫理綱領 ～倫理的感受性を育む～	竹之内 沙弥香 先生 京都大学大学院
CD2603-a	倫理的な迷いと向き合う ～看護職の倫理綱領が支える実践～	倫理 ●看護の現場で感じる倫理的な「迷い」を言葉にできるようになる ●倫理綱領の内容を理解し、看護実践の判断や行動の支えとして活用できるようにする
CD2603-b	看護職の倫理綱領を読み解く ～16項目に込められた看護の視点～	倫理 ●看護職の倫理綱領の全体像を理解する ●各条文の意図や背景を把握し、看護実践の具体例と結びつけて説明できる ●倫理綱領を自らの判断や行動のよりどころとして活用できる
CD2603-c	明日からの看護に活かす ～倫理実践へのステップ～	倫理 ●看護職の倫理綱領が日々のケアや判断のよりどころとなることを説明できる ●倫理的感受性を磨きながら、チームで対話し、倫理的課題に対応できる
CD2651	臨床倫理実践～患者の幸福をナラティブから見つけ出す～	金城 隆展 先生 琉球大学病院
CD2651-a	みんなで支えるACP ～患者の尊厳から～	倫理 ●患者の尊厳を守る医療を説明できる ●ACPとは何かを説明できる ●選択の準備ができていない患者に選択 (ACP) を強要しないようにするためにどうすればよいかを説明できる
CD2651-b	患者の幸福を考えるためのナラティブ ～スキルとナラティブの二刀流～	倫理 ●物語・ナラティブを説明することができる ●物語る動物の意味を説明することができる ●スキルとナラティブの違いを理解し、患者の幸福のためにはどのような倫理的姿勢が求められるかを説明できる
CD2651-c	事例でみるナラティブ ～患者の幸福を共同著作する～	倫理 ●共同著作の観点から臨床を定義することができる ●患者の尊厳に基づいた選択について一人ひとりができることは何か、自施設にあてはめて考えることができる ●「医療介護職者は杖である」という比喻を理解して説明できる
CD2652	看護職のための倫理 ～人生の最終段階における意思決定を支える～	木澤 義之 先生 筑波大学
CD2652-a	人生の最終段階における意思決定とは？	倫理 ●人生の最終段階ではどのような意思決定が必要なのか理解できる
CD2652-b	人生の最終段階にある患者を支えるためにどうするか	倫理 ●意思決定のプロセスがわかる ●本人の意思決定能力を評価できる ●代理意思決定：患者を支えるために家族等を支援できる
CD2652-c	事例から考える 意思決定を支えるためのポイント	倫理 ●事例から意思決定支援のポイントを学び、明日から自分ができることを1つあげられる

非常時でも切れ目のない医療体制提供のための備えと、心構えを学ぶ



コード	セッション名・テーマ名	講師・到達目標
CH2601	災害時の要配慮者をケアするために知っておきたいこと	奥田 博子 先生 国立保健医療科学院
CH2601-a	医療や薬の提供が滞らない支援のために	●災害時に要配慮者の医療や薬の提供が滞らないために、必要な支援につながるケアを1つあげることができる
CH2601-b	安全な避難に必要な地域連携の実際	●災害時の要配慮者の安全な避難のために、どのような地域連携ができるのか説明できる
CH2601-c	避難所における支援体制の構築	●避難所における要配慮者のために、必要な支援体制を1つあげることができる
CH2651	知見から学ぶ水害対策タイムライン防災計画	笠岡 俊志 先生 熊本大学病院
CH2651-a	水害の特徴とその対策の考え方	●水害の特徴を知り、その対策の考え方がわかる
CH2651-b	自施設の浸水リスクをいかに把握するか	●自施設の建物・設備の特徴を知り、浸水リスクを把握する方法がわかる
CH2651-c	水害タイムライン防災計画の必要性	●水害の被害度合に合わせた対策の必要性がわかる
CH2652	実効性のあるBCPを策定・運用するための考え方	笠岡 俊志 先生 熊本大学病院
CH2652-a	なぜ医療機関にBCPが必要なのか	●医療機関におけるBCPの必要性がわかる
CH2652-b	感染症型、災害型BCPそれぞれのポイント	●感染症および災害それぞれに応じたBCPの違いがわかる
CH2652-c	BCPを絵に描いた餅にしないために必要なこと	●BCPの実効性を高めるための方法がわかる
CH2653	災害に負けない病院づくりのポイント ～実際の災害事例に学ぶ有事への備え～	富岡 譲二 先生 米盛病院
CH2653-a	医療機関が抱えている災害リスク	●医療機関が抱える災害リスクをふまえた備えのあり方がわかる
CH2653-b	地域全体で考える医療防災	●医療防災における自施設外との連携方法を1つあげられる
CH2653-c	災害に負けない体制づくり ～事例に学ぶ災害時医療のいろは～	●災害に遭遇することを想定した体制づくりに必要なことを1つあげられる

職員一丸となり施設全体のレベルアップをめざすためのまなびをサポート



コード	セッション名・テーマ名	講師・到達目標
CJ2601	診療用放射線の正しい取り扱いと安全管理	菊地 克彦 先生 東京北医療センター
CJ2601-a	診療用放射線の基本知識と理解	医療安全 ●診療用放射線の基本知識を理解できる ●放射線被ばくの基本的な考え方を理解できる
CJ2601-b	診療用放射線の安全な取り扱いとわかりやすい患者説明の実践	医療安全 ●診療用放射線の安全な取り扱いとわかりやすい患者説明を実践するためのポイントがわかる
CJ2601-c	放射線障害が生じた場合の対応	医療安全 ●放射線の人体への影響を理解できる ●放射線障害が生じた場合の対応を理解できる
CJ2602	組織で取り組むハラスメント対策	柳原 里枝子 先生 株式会社 ハートセラピー
CJ2602-a	医療現場におけるハラスメントの理解と問題点	●医療現場におけるハラスメントについて理解できる
CJ2602-b	ハラスメントを起こさないためのコミュニケーション・指導法	●ハラスメントを生じさせないために必要なコミュニケーション方法を意識できる
CJ2602-c	ハラスメントのない施設をめざすための組織づくり	●ハラスメントのない施設をめざすための組織づくりについて学び、明日から取り組む課題を1つあげることができる
CJ2603	医薬品副作用被害救済制度のしくみと理解のポイント	市江 敏和 先生 海南病院
CJ2603-a	制度の目的としくみ	●制度の目的としくみについて理解できる
CJ2603-b	制度に該当する重篤な副作用	●制度に該当する重篤な副作用を1つあげることができる
CJ2603-c	制度の適切な活用のために	●制度を適切に活用するうえで留意すべき点を1つあげることができる
CJ2604	多職種で取り組む身体拘束最小化のための実践のポイント	桐山 啓一郎 先生 名古屋市立大学大学院
CJ2604-a	身体拘束の基礎知識と倫理的課題	医療安全 ●身体拘束の基礎知識と倫理的課題について理解する
CJ2604-b	身体拘束最小化を実現するための具体的なアプローチ	医療安全 ●身体拘束最小化を実現するための具体的なアプローチを1つあげることができる
CJ2604-c	身体拘束最小化を施設全体で取り組むために	医療安全 ●施設における身体拘束最小化について考え、明日から取り組む課題を1つあげることができる
CJ2605	児童虐待のない未来へ～医療スタッフのための予防と介入戦略～	毎原 敏郎 先生 兵庫県立尼崎総合医療センター
CJ2605-a	児童虐待の理解と医療スタッフに求められる役割	●児童虐待と医療スタッフに求められる役割を理解する
CJ2605-b	児童虐待の予防と早期発見のためのスキルとアプローチ	●児童虐待の予防と早期発見のためのアプローチを1つあげることができる
CJ2605-c	被害児童への支援と地域社会との連携	●被害児童への支援と地域社会との連携がわかる
CJ2606	児童・思春期の心理的特徴を学ぶ	川野 豊 先生 のぞえ総合心療病院
CJ2606-a	児童・思春期の心理的発達とその特徴	●児童・思春期の心理的発達とその特徴について理解する
CJ2606-b	児童・思春期の心理的支援における医療スタッフの役割	●児童・思春期の心理的支援における医療スタッフの役割について理解する
CJ2607	医療機関が取り組むカスタマーハラスメント対策～組織全体で現場を守る～	原 香奈 先生 三宅坂総合法律事務所
CJ2607-a	はじめに	テストなし ワークなし
CJ2607-b	実情	テストなし ワークなし
CJ2607-c	法律・指針等	テストなし ワークなし ●本セッションは特別配信のため、到達目標はありません
CJ2607-d	組織での対応	テストなし ワークなし
CJ2607-e	事例演習	テストなし ワークなし
CJ2651	医療現場で求められるLGBTQ+への理解と支援～すべての人が受けやすい医療をめざして～	中西 純 先生 ウィル訪問看護ステーション
CJ2651-a	性的マイノリティとSOGIについて知る	●LGBTQ+とSOGIについて説明できる ●カミングアウトとアウティングの違いについて説明できる
CJ2651-b	セクシュアリティ(性のあり方)と医療現場での課題	●さまざまなセクシュアリティの人が医療現場で直面する課題について説明できる
CJ2651-c	すべてのSOGIが受けやすい医療のために	●すべてのSOGIが受けやすい医療を実現するために、自施設で取り組む課題を1つ以上あげることができる

コード	セッション名・テーマ名	講師・到達目標
CJ2652	医療者として知っておきたい「患者の権利」 ～相互理解のためのコミュニケーション～	山口 育子 先生 ささえあい医療人権センターCOML
CJ2652-a	「知る権利」と患者の現状 ～ICからSDMへ～	●現在の医療における患者の意識と傾向について理解できる
CJ2652-b	患者のプライバシーを守るために	●患者のプライバシーを守るために自分が明日からできることを1つあげられる
CJ2652-c	患者・医療者がともに理解しあうための対応	●患者とのコミュニケーション能力アップのために自分が明日から使う「ひとこと」をあげられる
CJ2653	医療従事者が知っておきたいヤングケアラー支援	横山 恵子 先生 横浜創英大学
CJ2653-a	ヤングケアラーとは	地域包括ケア ●ヤングケアラーについて知る
CJ2653-b	ヤングケアラーの特徴を知る	地域包括ケア ●ヤングケアラーの特徴について知る
CJ2653-c	ヤングケアラー支援に必要な多職種・他機関連携での支援	地域包括ケア ●ヤングケアラーに必要な支援を理解する
CJ2654	医療従事者が知っておくべき身体拘束最小化の考え方	小里 佳嵩 先生 G&S法律事務所
CJ2654-a	身体拘束の必要性と廃止・防止の取組み	医療安全 ●身体拘束の必要性となぜ身体拘束を廃止・防止するように取り組むべきなのかわかる
CJ2654-b	身体拘束の基準と手続き	医療安全 ●身体拘束が例外的に許容される場合の判断基準とその手続きがわかる
CJ2654-c	事例で学ぶ身体拘束廃止・防止	医療安全 ●身体拘束最小化のための、身体拘束3要件の具体的検討、適正な手続きの手順がわかる
CJ2655	医療ガスの安全管理にかかわる基本的な考え方	小林 剛志 先生 平塚共済病院
CJ2655-a	医療用ガスボンベの基本 ～酸素ボンベの正しい取り扱い方の知識～	医療安全 ●医療用ガスボンベについて学び、安全に使用するための保管・運搬方法と圧力調整器・酸素流量計の取り扱いの留意点ができる
CJ2655-b	医療ガスの配管設備の基本 ～配管の知っておくべき知識～	医療安全 ●医療ガスの配管設備の概要がわかる
CJ2655-c	医療ガスのリスクとヒヤリハット事例	医療安全 ●医療ガスのヒヤリハット事例よりそのリスクを学び、医療ガス事故の防止策を1つあげられる
CJ2656	意識を変える！医療機関のサイバーセキュリティ	福田 秀樹 先生 徳洲会インフォメーションシステム株式会社
CJ2656-a	身近に迫るサイバー攻撃のリスク	●身近にどのようなサイバー攻撃のリスクがあるか1つあげられる
CJ2656-b	私たちにできるサイバーセキュリティ対策	●きょうからできるサイバーセキュリティ対策を1つあげられる
CJ2656-c	サイバーセキュリティの意識を高めるために	●サイバーセキュリティの意識を高めるために必要な取り組みを1つあげられる
CJ2657	高齢者虐待のとりえ方と対応	岸 恵美子 先生 東邦大学
CJ2657-a	高齢者虐待の定義と通報義務	医療安全 ●高齢者虐待の定義を学び、通報義務の重要性がわかる
CJ2657-b	高齢者虐待の実態	医療安全 ●高齢者虐待の実態を学び、自施設で類似する状況がないか振り返ることができる
CJ2657-c	高齢者虐待防止に向けた対応	医療安全 ●高齢者虐待防止に向けて、自施設に必要な対応を1つあげられる
CJ2658	障害者虐待のとりえ方と対応	奈須 康子 先生 北九州市立総合療育センター西部分所
CJ2658-a	障害者虐待の定義と通報義務 ～重症心身障害を中心に～	医療安全 ●障害者虐待の定義を学び、通報義務の重要性を理解する
CJ2658-b	障害者虐待の実態 ～重症心身障害を中心に～	医療安全 ●障害者虐待の実態を学び、自施設で類似する状況がないか振り返ることができる
CJ2658-c	障害者虐待防止に向けた対応 ～重症心身障害を中心に～	医療安全 ●障害者虐待防止に向けて、自施設に必要な対応を1つあげられる

医療に携わる社会人として知っておくべき「キホンのキ」



コード	セッション名・テーマ名	講師・到達目標
CK2601	医療機関で必要なネットリテラシー ～潜在的な危険を理解し上手に使う～	山本 健人 先生 京都大学医学部附属病院
CK2601-a	医療機関でのネット利用の基本を知ろう	●医療機関でのネット利用の基本原則を3つ説明できる
CK2601-b	発信者も見えないネット社会の落とし穴 ～「無意識の情報漏洩」への対策～	●個人でのネット利用の際に気づかずに犯してしまう情報漏洩について3つ説明できる
CK2601-c	炎上事例から学ぶSNSの使い方	●近年の炎上事例をととして、SNSを使う際の注意点が理解できる
CK2602	誰でも必要な医療機関における聴く力 ～話を「聴く」ってどういうこと？～	松本 修一 先生 洛和会音羽病院
CK2602-a	あなたは本当に人の話を「聴く」ていますか？ ～日々の小さな積み重ねが重要～	●普段の対話での「きき方」を振り返り、できていること、改善できそうなことを1つずつみつけることができる ●相手の存在を承認するための行動を3つあげられる
CK2602-b	「聴き」方を知る ～「聴く」ためにはがまんが必要！？～	●人の話を「聴く」際に気をつけるべき心得を4つ説明できる
CK2602-c	「聴く」テクニック～これだけをマスターしたら安心？！～	●傾聴のテクニックを使い、相互理解を促進することができる
CK2651	あいさつからはじまる接遇マナー	村尾 孝子 先生 株式会社 スマイル・ガーデン
CK2651-a	信頼関係を築く医療接遇のあり方	●信頼される医療人になるための意識づけができる ●医療人として、基本的なビジネスマナーを身につける ●医療接遇の必要性を理解し、適切なふるまいと円滑なコミュニケーションがとれる
CK2651-b	医療現場にさまざまな影響をもたらす「あいさつ」のチカラ	●あいさつの意義を理解し、「自分から先に」積極的にあいさつができる ●あいさつを実践して、多職種との円滑なコミュニケーションに活用できる ●患者さんをいたわり、心のこもったあいさつができる
CK2652	クレーム対応～二次クレームを予防するために～	村尾 孝子 先生 株式会社 スマイル・ガーデン
CK2652-a	これだけは知っておきたいクレーム対応	●クレームに含まれる患者さんの気持ちを理解することができる ●クレームが起こる原因や理由を理解することができる ●ポイントをおさえたクレーム対応を理解できる
CK2652-b	二次クレームを予防する心得	●二次クレームの発生要因を理解できる ●二次クレームの予防に必要な初期対応を理解できる ●二次クレームを予防するポイントを理解できる
CK2652-c	動画で学ぶ電話対応	●動画を参考に電話対応方法をイメージできる ●電話でのクレーム対応の悪い例を見て、何が問題なのか理解する ●電話でのクレーム対応の良い例を見て、望ましいクレーム対応を理解する
CK2653	働きがい向上のためのキャリアプランを立てよう	永井 則子 先生 有限会社ビジネスブレン
CK2653-a	やりがい感の源・自己資源を把握する	キャリア開発 ●キャリアデザインの重要性に気づく ●自己資源把握の進め方を理解する
CK2653-b	組織とのコミットメントを考える	キャリア開発 ●組織における役割について理解する ●労働者としての市場価値の棚卸をする ●ワークライフバランスについて考える
CK2653-c	キャリアプランを立てる	キャリア開発 ●キャリア形成に影響する外的要因を理解する ●リスクリングを考える ●キャリアプランを立てる
CK2654	組織の活性化と職員自身の成長につながる コミュニケーションの力！	青木 正人 先生 株式会社 ウエルビー
CK2654-a	医療機関のコミュニケーションの特徴は？	●円滑で確実なコミュニケーションをはかるポイントがわかる
CK2654-b	コミュニケーションをとるのはなぜ難しい？	●コミュニケーションスキル向上のポイントをつかむ
CK2654-c	組織力を高めるコミュニケーションとは？	●チームビルディングを支えるコミュニケーションのあり方を理解する
CK2655	よくわかる個人情報保護の基本と取り扱い方～医療現場編～	南 陽輔 先生 一歩法律事務所
CK2655-a	個人情報保護とは何か	●個人情報保護法の基本が理解できる
CK2655-b	個人情報保護に対する基本的な考え、取り組み	●個人情報の取り扱い方を学び、自施設で必要な取り組みを1つあげられる
CK2655-c	個人情報の取り扱いについて	●「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」の概要がわかる

コード	セッション名・テーマ名	講師・到達目標
CK2656	医療職のためのメンタルヘルスマネジメント	川村 道子 先生 宮崎県立看護大学
CK2656-a	医療職の特性からみるメンタルヘルス	●医療職の特性からメンタルヘルセルフマネジメントの重要性を理解する
CK2656-b	メンタルヘルスを意識した日々の暮らし	●メンタルヘルスを意識した暮らし(活動と休息)の創出について、エビデンスベースで理解する
CK2656-c	良好な職場環境とメンタルヘルス	●職場環境のなかでメンタルヘルスに及ぼす影響を理解し、対処法を講じることができる
CK2657	働き方改革につなげる多職種連携のあり方	田中 恭子 先生 ペガサス 馬場記念病院
CK2657-a	医療従事者に必要な多職種連携とは	●医療従事者による多職種連携の必要性がわかる
CK2657-b	多職種連携が機能するために	●多職種連携がうまく機能するために必要な取り組みを1つあげられる
CK2657-c	多職種連携でのかかわり方	●多職種連携での自身の役割を見出し、どのようにかかわれるか考えることができる
CK2658	電話・メールの基本マナー ～社会人としてのファースト・ステップ～	平岡 弓枝 先生 国立がん研究センター東病院
CK2658-a	新医療人としてのビジネスマナー：電話編	●新医療人として基本的な電話対応の方法がわかる
CK2658-b	新医療人としてのビジネスマナー：メール編	●新医療人として基本的なメール文面の作成方法がわかる
CK2658-c	ビジネスマナーを実践するとは	●電話・メールのビジネスマナーを理解し、ていねいな対応ができる

スタッフ一人ひとりが知っておきたい、診療報酬の基本から改定の重要ポイントまで徹底解説！

◆コース新設◆

コード	セッション名・テーマ名	講師・到達目標
4月開始	CI2601	ここから始める診療報酬入門 小野田 舞 先生 看護系学会等社会保険連合
	CI2601-a	私たちのケアと診療報酬 ●診療報酬がなんのためにあるのか理解し、自分の仕事にあてはめて考えることができる
	CI2601-b	診療報酬のしくみ ●診療報酬のしくみの大まかな流れを理解することができる
	CI2601-c	診療報酬改定が描く医療のカタチ ●どんな意図や目的で診療報酬改定が行われるのか、自分なりに説明することができる
	CI2602	どう変わる？ 令和8年度診療報酬改定 ～主な改定のポイントと現場での対応～ 西本 育夫 先生 全日本病院協会
	CI2602-a	テーマはコレ！ 令和8年度診療報酬改定 ●令和8年度診療報酬改定のテーマを理解することができる
	CI2602-b	Q & Aで押さえる！ 令和8年度診療報酬改定のポイント① ●令和8年度診療報酬改定のポイントを具体的に理解し、自分の業務がどう変わるか理解することができる
	CI2602-c	Q & Aで押さえる！ 令和8年度診療報酬改定のポイント② ●令和8年度診療報酬改定のポイントを具体的に理解し、自分の業務がどう変わるか理解することができる
7月開始	CI2603	看護部全員で理解し実践へつなげる！ 令和8年度 診療報酬改定のポイント 酒井 麻由美 先生 株式会社 リンクアップラボ
	CI2603-a	看護部全員が理解しておきたいポイント① ●令和8年度診療報酬改定について、看護部での取り組みを1つあげられる
	CI2603-b	看護部全員が理解しておきたいポイント② ●令和8年度診療報酬改定について、看護部での取り組みを1つあげられる
	CI2603-c	看護部全員が理解しておきたいポイント③ ●令和8年度診療報酬改定について、看護部での取り組みを1つあげられる
	CI2604	医療・介護・福祉の連携で地域へ ～来る2040年を見据えて～ 齋藤 訓子 先生 全国訪問看護事業協会
	CI2604-a	介護保険と医療、どうかかわる？ ●介護保険と医療とのかかわりを理解することができる
	CI2604-b	介護報酬の機能と役割 ●介護報酬の機能と役割について理解することができる
	CI2604-c	医療・介護・福祉の連携で地域をつくる ～来る2040年を見据えて～ ●2040年に向けてどのような連携が求められるのか、長期目線で考えることができる ●地域に貢献する多職種連携の流れをイメージすることができる